

雪の国のおはなし

その1



いよいよ冬本番。本格的な雪の季節を迎えます。「雪は怖い」「雪は天の恵み」など、雪は、良いイメージも悪いイメージも含めて私たちの暮らしに密接にかかわっています。協働のまちづくりモデル事業「雪の国のおはなし」では、こうした、雪をめぐる問題や知恵などを、市報とおかまち「だんだん」などととおしてシリーズで情報発信していきます。

雪をめぐる課題と恵み

「雪はやっかいもの」「白い悪魔」「豊かな実りのもと」「雪にはぐくまれた文化がある」「雪のマンナーが悪くなつた」「雪をうまく利用して楽しんでる」…。

良い面も悪い面も含めて、雪は私たちの暮らしと密接に結びついています。とりわけ、冬期間の雪処理は生活に直結し、経済的にも精神的にも大きな負担になっています。特に大雪になると、道路や屋根の除雪をめぐってさまざまなトラブルも発生しています。

また、真冬に地震などの災害が発生した場合、家庭や地域でどう対応するのか、要援護者を含めてどう支え合うのかなどについても、それぞれの立場でよく考え、行動する必要があります。

一方、こうした課題を乗り越えたうえで雪とうまく付き合い、利用している事例も多くあります。

古くからの知恵や遊び、雪国ならではの文化や工夫などが多く残っていることも事実です。

広く雪の情報を発信

「雪の国のおはなし」では、雪を

めぐるさまざまな課題や知恵、歴史や文化など、雪国特有の事柄を少し掘り下げ、市民・事業者・市が協働して雪への取り組みのあり方を考えるきっかけにしていきます。

ホームページや市報の紙面（月1回）を利用して、除雪マンナーの良い例や悪い例、雪処理の事例や雪の達人紹介など、雪の中での暮らしに役立つ情報や、雪についてのさまざまなデータを紹介し、これからの雪国生活を考えていきたいと思えます。

シリーズでは、おおむね、次のような枠組みで内容を企画・編集していく予定です。

《冬（12月～4月）》

除雪の実際や雪のマンナー、雪の災害対策など、主に「克雪」分野の情報を発信します。

《春（5月～11月）》

雪がはぐくんだ文化や遊び、道具や雪利用の知恵など、主に「利雪・親雪」分野の情報を発信します。

※市報掲載は原則として毎月10日号

実のある雪の情報紙にしていきたいと思えますので、いろいろな情報やご意見をお寄せください。

また、取材を手伝ってくれるレポーターも随時募集しています。ぜひご参加ください。

お寄せください

雪の活用アイデアと雪遊び

「雪の国のおはなし」では、雪の活用方法や雪を使った遊びのあれこれを探しています。

雪国特有の雪をうまく利用している事例や、雪国ならではの遊びを紹介してください。

「雪のおかげで、雪下にんじんや雪下キャベツがおいしくなるよ」、「冬の雪を夏まで取っておいて米の貯蔵に役立っているんだよ」、「雪冷房で夏も快適」などなど…。だれもが知っているような雪の利用方法や、門外不出の「わが家・秘伝の雪の活用方法」などを募集します。また、凍み渡りや雪合戦、雪の上の羽根つきなど、冬の時期にしかできない遊びも募集しています。応募された事例の中から特徴的なものを、「雪の国のおはなし」で紹介していきますので、奮ってご応募ください。

2 募集期間

平成22年3月31日(水)まで

3 応募条件

特に条件はありません。

4 応募方法

次の内容を明記のうえ、直接または郵送、FAX、Eメールで「総合政策課協働のまちづくり推進室」に提出してください。

- ①住所、氏名、生年月日、電話番号
 - ②「雪を活用している具体的な例や人」、または「雪（冬場）を利用している遊び」を記入したもの（字数及び様式は任意）
 - ③これに関係する写真（ある場合）
 - 5その他
- 応募状況や内容により、紹介できないことがあります。

■応募・問合せ 総合政策課協働のまちづくり推進室

3693 FAX752-4635

Eメール：t-sogo@city.tokamachi.lg.jp

雪の国のおはなし

募集要項

1 募集内容

- (1)雪を活用している具体的な例
- (2)雪（冬場）を利用している遊び

消雪パイプのウソ・ホント

「いつぱい出るほどよく消える」はウソ!?

降った雪をどんどん消してくれ冬の間隔にしようわしわ出て、道路や駐車場をしっかりと確保してくれます。

ときおり、人の背だけども噴水のように水が飛び上がっているところを見かけます。「いつぱい出た方が雪がよく消える」と思い込んでのことのようですが、これはほとんど効果がないようです。

消雪パイプの水は、地面を静かに流れていく過程で雪を消すた



雪が降っているときでも出なくなるのはなぜ?

先が見えなくなるほど雪が降っているのに、消雪パイプが止まってしまうことがあります。「なんで止めた」「故障か!」とあわてないで…。

実はこれ、地下水の枯渇や地盤沈下を防ぐために、一定時間散水を止めているのです。止まる時間帯は、交通量や経済活動の状況によりあらかじめ決められています。が、地域によって違いがあります。市街地などでは、子どもたちが水はねの被害を受けないように、登下校の時間帯に止める場合もあります。みんなで協力しましょう。



5 みんなで気配り運転
除雪道路は駐車禁止です。除雪作業の迷惑にならないようにしましょう。降雪・積雪状況により、交通規制が行われることがあります。ご理解とご協力をお願いします。運転者は、水はねなどで歩行者に迷惑をかけないように、気配りある運転を心がけましょう。

6 雪崩にあわないために
気温が低く降雪が続く時期や融雪期には、雪崩が起こりやすくなります。雪山の登山やスキー場などでは特に注意し、危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。雪崩の兆候や危険な場所を見つけたら、すぐに避難して、市克雪維持課・各支所農林建設課または地域振興局地域整備部へ連絡してください。

●問合せ 克雪維持課克雪利水係
☎757-3198
(内線273・274・275)

守って安全 みんなで気配り 雪 処理に注意とご協力を

雪の季節は除雪、凍結、雪崩など、事故やトラブルの危険がいつぱい。雪の降り初めは、車の衝突や転落事故が多発します。慎重な運転を心がけてください。また、真冬のアイスバーンや除雪直後の道路での転倒にも、十分注意してください。安全を確保しながら、ルールを守って冬を乗り切りましょう。



1 雪おろしに注意
雪おろし作業は安全を第一に考え、足元には十分注意しましょう。屋根雪などの道路への投げ捨ては禁じられています。やむを得ず道路に出す場合は、道路わきに積み上げるなどして、速やかに片づけてください。落雪式屋根の軒下には絶対に立ち入らないようにしましょう。また、ガスや灯油の外部配管を傷つけないように注意してください。雪おろしは隣接する家屋の人に声を掛け、お互いの迷惑を考えながら協力して実施しましょう。

2 非常口の確保と事故防止
火災などの緊急時に備え、建物の非常口を確保しましょう。防火水槽や消火栓の除雪もお願いします。家の周囲での雪壁崩落や消雪池・流雪溝への転落事故に十分注意しましょう。

3 除雪機械に近寄らない
除雪作業をするときは必ず誘導員を付け、作業中は必ず誘導員の指示に従ってください。特に、小型除雪機の事故が毎年多発しています。雪が詰まったときには必ずエンジンを停止してから取り



4 流雪溝の正しい使い方
① 作業中は流雪溝のふたが開いていることを知らせるため、赤いカラーコーンや赤い旗を掲示してください。作業終了後は速やかにふたを閉めてください。
② 転落防止のため、投雪口に付けてある十字枠は絶対に外さないでください。
③ 道路の中央に設置してある投雪口を利用するときは、必ず誘導員を置いてください。
④ 河川への投雪は水上がりの原因になるのでやめてください。



NTT・東北電力からのお願い

◆メーター周りを除雪してください。屋根の雪おろし作業をするときは、電線・電話線の切断に注意してください。
◆ロータリー除雪機などで除雪作業をするときは、雪を電線・電話線・変圧器・メーターの方向に飛ばさないでください。また、バックホウなどで除雪作業をするときは、電話線などを引っかかないように注意してください。
◆変圧器や電線に触れると感電する恐れがあります。電線が切れて路上などに落ちていても、絶対に触らないでください。見つけた場合は、至急東北電力までお知らせください。

●問合せ NTT東日本新潟南魚沼サービスセンター ☎025-775-7931
東北電力㈱ ☎0120-175-366



水道管の凍結防止は万全ですか？



冷え込みが厳しくなると、屋外の水道管や蛇口が凍って破裂することがあります。凍結事故による修理費と水道料金は、使用者の負担になります。十分な防寒対策を行いましょう。

◆凍結防止対策・・・凍結しやすい所に保温材を巻いてください。(発砲スチロールなど水を吸収しない素材が有効です)
◆破裂したとき・・・メーターボックス内の止水栓を閉じてから、指定工事店に修理をお願いしてください。冬期間も検針を行います。メーターボックスの上に物を置かないでください。

●問合せ 上下水道局水道維持係 ☎757-3115 (内線39)